

BOATMEN

NPO法人 石川県小型船安全協会会報「ボートメン」 31号 (2019年12月発行号)

Vol. 31

緊急連絡

ベテランの方の海難事故が増えています。
慣れからくる緊張感の緩みにご注意ください。

トピックス …… 夜海中転落者を捜索。県内プレジャーボートの事故件数、
海上保安庁との小型船安全協会に関する意見交換会、ざぶん賞2019表彰式など
活動報告 …… マリンレジャー安全推進週間出動式、海難救助訓練、夏のイベント、海の授業など
行政から …… 金沢・七尾海上保安部着任のご挨拶

ざぶん賞受賞作品 © ポートマンズ エッセイ・夢を泳ぐ

金石沖で海中転落者を搜索。

11月17日 金沢支部

金石港を夜間出港した漁船の1名が転落する事故が発生。同港に係留している金沢支部のメンバーが搜索活動に協力しました。事故発生日から3日間、約30名の会員が出港、沿岸部の搜索も行いました。

残念ながら発見に至りませんでした。数日後にかほく市の海岸でご遺体が発見されました。

漁業者の方は、長年の経験を有していました。ライフジャケットは着用されていたものの、残念な結果となりました。

石川県のプレジャーボートの海難隻数が昨年より減少。

30年度の石川県のプレジャーボートの船舶事故件数は16件で、前年の2倍以上となりましたが、今年31年(令和元年)度は6件で、減少しました。

主な要因は機関故障、乗揚、推進器障害などで、出航前の適切な整備や見張りの徹底により未然にできた可能性があるものです。日ごろの整備や出向前の点検を行えば未然に防げた事故といえます。

会員の皆様には、今後も安全意識を強く持ち、ライフジャケット着用、出向前の点検、運行マナーの徹底し、また事故ゼロを目指していただきますようお願いいたします。

平成30、31年・令和元年 第九管区内 用途別海難事故発生件数

| | 石川県 | 富山県 | 新潟県 | 合計 |
|----------|---------|--------|-------|-------|
| 年度 | 31・R1※ | 30 | 30 | 30 |
| 漁船・遊漁船 | 10(-2) | 12(0) | 3(2) | 11(1) |
| プレジャーボート | 6(-10) | 16(7) | 14(2) | 17(3) |
| 貨物船 | 1(-4) | 5(4) | 1(1) | 5(1) |
| その他 | 4(2) | 2(-1) | 1(-2) | 1(-1) |
| 合計 | 21(-14) | 35(10) | 19(2) | 34(4) |

※31・R1年は11月までの速報値 ()は前年度比増減

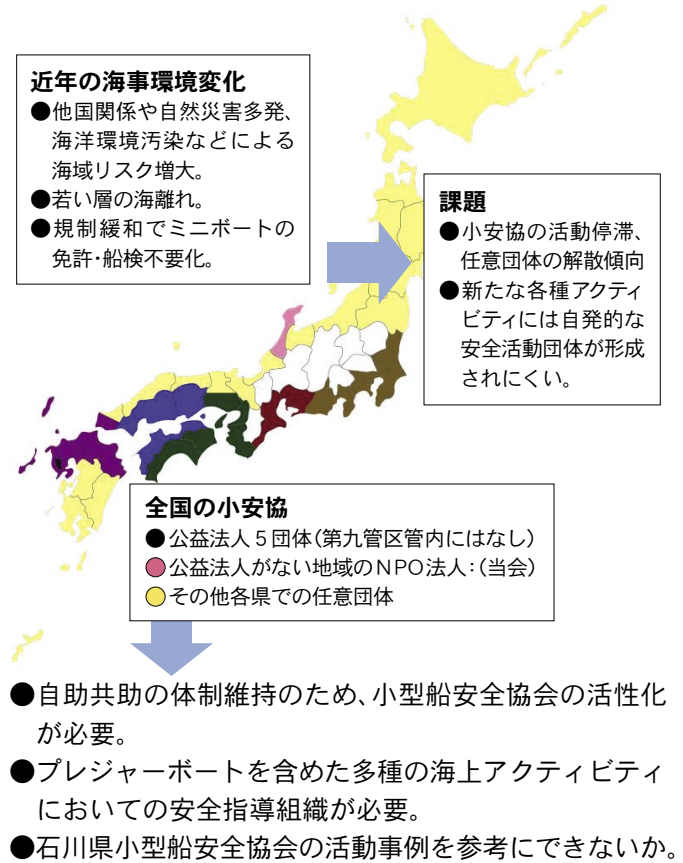
海上保安庁で当会の活動を紹介、今後の安全活動の在り方について、意見交換を継続。

3月1日 海上保安庁

昨年、海上保安庁の交通政策審議会から第4次交通ビジョンとして「船舶交通安全をはじめとする海洋安全のさらなる向上のための取り組み」が答申された中で、全国の小型船安全協会の活性化も課題とされています。

全国各地の小型船安全協会の活動が厳しくなっている中、海上保安庁からは、当会の活動に評価とご感心を頂いており、本庁安全対策課からの要請で、本庁にて同課の皆様にお集まりいただき、当会の活動について紹介しました。

全国の自助共助型海洋安全活動の実態と課題



第九管区海上保安本部との意見交換

11月19日 金沢海上保安部

本庁での活動を金沢、七尾両海上保安部に報告するとともに、本庁から、現場での新しい対策案については第9管区本部と連携し検討されるようにとの方針が出され、同本部の安全対策課長 青木氏を招き、意見交換を行いました。

ざぶん賞2019(第18回)の表彰式開催。各省庁からの賞も交付。環境省から海洋プラスチック問題の講演も。

12月7日 金沢市

第18回目のざぶん賞の表彰式を、金沢市のホテルで行いました。今年も全国の小中学生から約9,000作品の応募がありました。当会の各支部から学校などに事業の紹介を行い、金沢、小松、白山、輪島、珠洲など各市町の生徒からも多くの応募がありました。

はじめに委員長の前尾嘉男氏(東京大学名誉教授)が登壇、その後当会顧問の馳 浩氏、佐々木紀氏、西田昭二氏(衆議院議員)、金沢市長の山野之義氏から順に歓迎のご挨拶をいただきました。



文部科学大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞、水産庁長官賞、海上保安庁長官賞が交付。

昨年に続き、文部科学大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞、水産庁長官賞、海上保安庁長官賞が授与されました。

石川県内の入選者には、県知事賞、県教育委員会賞、金沢市長賞、白山市長賞、うみまる賞（金沢、七尾両海上保安部長表彰）、ソロプチミスト金沢賞が順に交付されました。



環境省から子供たちに向けて、海洋環境についての講演をしていただきました。

表彰式では、環境省 水・大気環境局 水環境課課長補佐の伊藤史雄氏から基調講演をしていただきました。近年問題意識が高まっている海洋プラスチックゴミ問題についてなど、わかりやすく説明され、学びました。



活動報告

総会開催。事業計画・予算が承認。

総会 2月23日 金沢市

通常総会を開催しました。岡川会長は、これまでの活動が、海上保安庁にも評価され、新たな安全活動が全国的に求められていること、またそれに協力する検討をはじめたなどの報告と、今後も活動を継続する意義を述べました。

議案審議では、安全面で、通常の安全指導、パトロールの活動強化、ライフジャケットの着用徹底に加え、海上保安庁が提案する新たな活動への協力を行うことや、海洋体験推進事業、文化創造事業などの計画が承認されました。



石川県総合防災訓練に参加。海上で物資を受け取り搬送しました。

9月8日 金沢港

本年度の石川県総合防災訓練は野々市市をメイン会場

に行われました。港を持たない野々市市への海上物資搬入を金沢港から行うという設定で、金沢支部が参加しました。

訓練は、金沢港内で自衛隊の艦船から当会所属の小型船1隻に荷物を降ろし、大野の岸壁に着岸し、トラックに積みまでの一連の作業を行いました。訓練には5名が参加。実践を想定し、所要時間も迅速に行うことを心掛けました。



マリレジャー安全推進週間出動式

4月21日 金沢港（金沢支部）

4月28日 七尾港（能登支部）

大型連休前のマリレジャー安全推進週間の出動式を、海上保安部の協力のもと行いました。

金沢では金沢港護岸周辺と、港内のパトロールを行い、レジャー活動者に安全の指導を行いました。

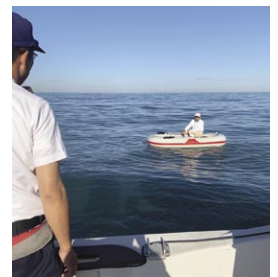
七尾では巡視船はまゆきおよび、安全パトロール艇5隻により海上パトロールを行い、港内のポートへの安全指導を行いました。



ミニボートへの安全指導

5月5日、6日、23日 美川沖（手取会）

海上安全指導員が、近年県内各地でも増加しているミニボートへの安全指導を、ゴールデンウィークの風の日を中心に行いました。初の試みで、金沢海上保安部も同行いただき、実態調査も兼ねて実施しました。出港後まもなく釣りを楽しんでいる10隻以上のボートを発見。中にはライフジャケットを着用していない利用者もおられました。



海の事故ゼロキャンペーン、出動式

7月21日 七尾港（能登支部）

海の事故ゼロキャンペーンの実施期間初日に併せ、七尾海上保安部と合同で、出動式を行いました。

その後、同保安部管理機動艇と安全パトロール艇により七尾港内のレジャーボートに対する安全指導等、海の安全推進活動を実施しました。



7月27日 北陸自動車道 徳光パーキングエリア

加南支部の手取会は、金沢海上保安部および、白山警察署、白山野々市広域消防本部らと合同で、海洋レジャーシーズンの到来において、海水浴場に隣接する北陸自動車道の徳光パーキングエリアで、啓発活動を行いました。



各地で海難訓練、講習会を実施

海難訓練 6月2日 小松安宅沖、6月22日 穴水中居湾、6月29日 羽咋滝港沖

小松市、穴水町、羽咋市で、金沢・七尾海上保安部の協力で、水難救済会との合同海難訓練を実施しました。穴水ではプレジャーボート同士の衝突を想定し、情報伝達、搜索、溺水者揚収、ロープワーク、曳航救助訓練等一連の訓練などが行われました。



防災訓練 9月21日 珠洲市狼煙港、9月28日 七尾港、10月14日 穴水町比良

珠洲市では狼煙港にて大地震発生後の津波被害を想定して、漂流者搜索、救助、機関故障船曳航救助、防波堤孤立者救助などの沿岸訓練が実施され、参加しました。

七尾港では大規模な油の流出及び漂流者が発生したという想定のもと、訓練が行われました。訓練には海上保安庁巡視船はまゆき、地方整備局浚渫船はくさん、同局港湾業務艇のとかげも参加しました。

穴水町では日本航空大学校向洋キャンパスで防災訓練が行われました。

その他各地の会員クラブが主催する海難防止講習会が、金沢、七尾海上保安部の協力のもと、行われました。



夏のイベントを各地で開催

ボート天国・マリンスポーツチャレンジデー 7月17日 七尾港

恒例となった七尾港の体験航海「ボート天国」が開催されました。200人以上の多くのご家族や子供たちがボートを体験しました。七尾マリン協会、雌島クラブが協力しました。



親子ボートフィッシング大会を開催 7月15日 加賀市

加賀マリンクラブが橋立港の沖合で、親子を対象としたボートフィッシングを開催しました。

27名(11組)の親子が参加しました。

また小松、美川地区のフィッシング大会は、あいにくの荒天のため中止となりました。



小学生の体験航海開催 7月2日 珠洲市立直小学校

長浜マリン協会は、小学生の課外事業の一環として、市立直小学校5・6年生を対象に、体験航海を実施しました。その後体験したことを作文にし、ざぶん賞に応募しました。



児童館などで「海の授業」を開催。

白山市：6月10日 蕪城こども園、7月22日 わかみや児童センター、7月23日 美川児童館、7月30日 松任児童館、7月25日 山島台児童センター、8月6日 千代野児童センター、小松市：7月12日 今江こども園

加南支部 手取会、小松マリンクラブが白山市と小松市の保育園で「海の授業」を開催しました。講師は金沢海上保安部に協力いただきました。



トライアスロン大会に協力

8月24、25日 珠洲市

第30回目の記念となる珠洲トライアスロン大会が開催。今年も長浜マリン協会がスイム競技の海上安全に協力しました。



県民の森の植樹、草刈りを継続。クリーンビーチに参加

5月15日、7月8日 加賀市 山中県民の森

大協マリンクラブは、毎年の恒例事業となっている、山中県民の森での草刈りを実施しました。

5月26日 金沢、6月9日 小松、7月7日 七尾

今年も金沢、小松、七尾（能登島）でクリーンビーチ石川に参加。各地の会員団体が清掃活動を行いました。



県海面利用協議会、台風津波対策協議会に参加。

県海面利用協議会 11月21日 石川県庁
金沢港・七尾港台風津波対策協議会 6月17日 金沢、
6月22日 七尾

本年度の県海面利用協議会が石川県庁で開催。同会の副会長を委嘱されている濱田理事が出席しました。会ではマグロの幼魚の漁獲規制、密漁の取り締まり、遊漁船の装備についてなど、意見交換がなされました。

海事関係功労者表彰。

7月15日 七尾市、23日 国土交通省

本年度「海の日」海事関係功労者表彰が七尾市で開催。永年、安全指導員として活動された方に各賞が贈られました。

当会からは、海上指導員として藤元浩二司氏、水本正幸氏、今出勝雄氏に第九管区海上保安本部長表彰が、円角一明氏、白木眞一氏、山崎久次郎氏に金沢海上保安部長表彰が、七尾の会場で授与されました。

また、副会長の吉田憲孝氏が国土交通大臣表彰を授与され、同本庁舎にて行われた表彰式に出席しました。





スナップ

海の教室
下/今江こども園(小松市)、右/白山市の児童館



安全活動
上・右下/
海上パトロール・指導
左/徳光パークでの
安全啓発活動
(白山市)



海の日 海事関係功労者表彰式
国土交通大臣表彰受賞 吉田副会長(東京 国土交通省)



総会 当会顧問・衆議院議員 佐々木紀氏(国土交通省
政務官)、同 西田昭二氏ごあいさつ(金沢市)



安全活動 上左/安全講習会
上右・下/ゴールデンウィーク出動式
(七尾市)



親子ボートフィッシング大会参加者(加賀市)



珠洲市長 泉谷満寿裕氏に、
ざぶん賞入選報告(珠洲市)



トライアスロン大会の海上安全協力(珠洲市)



白山市長 山田憲昭氏への活動報告(白山市)

ざぶん賞表彰セレモニー
上左/当会・ざぶん賞顧問、衆議院議員 馳 浩氏
上右/金沢市長 山野之義氏 歓迎ごあいさつ
下/全国から参加した受賞者(金沢市)

